

1 令和2年度健康診断等の実施状況総括表

令和2年度は、下記のとおり各種健康診断等を実施した。

健診・検査合計で、延 372,221人となり、前年比 81,094人の減、17.89%の減少となった。

とりわけ健康診断事業については、住民健診における集団健診から個別医療機関健診への移行に伴う受診者減少に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大による健診の中止・延期などにより減少となった。

また、風しん抗体検査については、国が令和元年度から3ヶ年で計画している、風しん特別対策について、市町の特定健診や企業の職場健診等での風しん抗体検査について、令和元年度より実施している。

(単位:人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
特定健康診査	44,047	44,375	44,501	43,633	24,922	△ 18,711	57.12%
事業所健診	83,218	80,014	74,778	74,736	75,564	828	101.11%
メンタルヘルス	-	7,132	6,777	5,542	5,462	△ 80	98.56%
結核健康診断	132,088	128,270	122,758	120,856	109,302	△ 11,554	90.44%
原爆被爆者健康診断 (一般)	4,074	3,510	3,254	2,845	1,365	△ 1,480	47.98%
学校健診(児童生徒)	45,126	43,751	42,657	42,301	40,656	△ 1,645	96.11%
胃がん検診	25,694	25,174	24,201	23,295	18,327	△ 4,968	78.67%
子宮頸がん検診	17,066	16,860	16,511	16,175	10,561	△ 5,614	65.29%
乳がん検診	18,434	18,530	18,386	18,842	11,459	△ 7,383	60.82%
肺がん検診	39,426	39,061	37,572	37,397	22,968	△ 14,429	61.42%
大腸がん検診 (大腸検診含む)	39,470	40,372	42,633	43,132	33,396	△ 9,736	77.43%
骨粗鬆症予防検診	2,090	2,297	2,421	2,272	1,384	△ 888	60.92%
腹部超音波検査	5,903	5,800	5,553	6,135	2,289	△ 3,846	37.31%
ヘリコバクター ピロリ抗体検査	625	1,060	1,476	955	565	△ 390	59.16%
胃がんリスク検診 (ABC検診)	2,660	2,591	1,994	1,822	850	△ 972	46.65%
風しん抗体検査	0	0	0	1,788	2,333	545	130.48%
健診小計 ①	459,921	458,797	445,472	441,726	361,403	△ 80,323	81.82%
先天性代謝異常検査	12,062	11,732	11,072	10,548	9,938	△ 610	94.22%
検体受託検査	1,211	1,136	1,072	1,041	880	△ 161	84.53%
検査小計 ②	13,273	12,868	12,144	11,589	10,818	△ 771	93.35%
総合計 ①+②	473,194	471,665	457,616	453,315	372,221	△ 81,094	82.11%

2 特定健康診査等の実施状況

高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく特定健康診査は、24,922人を実施し、前年比 18,711人の減、42.88%の減少となった。

なお、肝炎ウイルス検査 1,359人、前立腺がん検診 6,238人も併せて実施した。

○特定健康診査

(単位:人)

年度	箇所数	特定健診等	保健指導の階層化				メタボリックシンドローム判定		
			情報提供	動機づけ支援	積極的支援	その他	非該当	予備群	該当
平成28年度	17	44,047	29,791	2,967	1,165	10,124	32,113	4,902	7,026
平成29年度	18	44,375	29,605	3,073	1,183	10,514	31,773	5,171	7,420
平成30年度	18	44,501	29,576	3,088	1,051	10,786	31,991	5,087	7,419
平成元年度	18	43,633	29,955	3,147	1,017	9,514	31,149	5,035	7,425
令和2年度	18	24,922	16,671	1,634	521	6,096	17,470	3,132	4,314
対前年度	0	△ 18,711	△ 13,284	△ 1,513	△ 496	△ 3,418	△ 13,679	△ 1,903	△ 3,111
前年比率	100.00%	57.12%	-	-	-	-	-	-	-

※箇所数には、原爆被爆者健康診断において特定健康診査を追加し実施している市町はカウントしていない。

○肝炎ウイルス検査

(単位:人)

年度	肝炎ウイルス検査						
	箇所数	B型	要精検者数	要精検率	C型	要精検者数	要精検率
平成28年度	16	2,997	29	0.97%	2,997	11	0.37%
平成29年度	16	2,886	32	1.11%	2,886	7	0.24%
平成30年度	16	3,122	24	0.77%	3,122	13	0.42%
令和元年度	16	2,911	17	0.58%	2,911	2	0.07%
令和2年度	15	1,359	14	1.03%	1,359	1	0.07%
対前年度	△ 1	△ 1,552	-	-	△ 1,552	-	-
前年比率	93.8%	46.7%	-	-	46.7%	-	-

○前立腺がん検診

(単位:人)

年度	前立腺がん検診			
	箇所数	受診者数	要精検者数	要精検率
平成28年度	14	9,078	874	9.63%
平成29年度	15	9,275	831	8.96%
平成30年度	15	9,312	813	8.73%
令和元年度	15	9,170	798	8.70%
令和2年度	15	6,238	602	9.65%
対前年度	0	△ 2,932	-	-
前年比率	100.0%	68.0%	-	-

3 事業所健診の実施状況

事業所健診は、労働安全衛生法による一般健康診断を 75,564人、特殊健康診断を 9,446人、指導勧奨による健康診断等 2,375人、情報機器作業健康診断(VDT)を 1,682人実施した。

一般健康診断は、前年比 828人の増、1.11%の増加となった。

①一般健康診断

(単位:人)

年度	箇所数	一般健診	総合判定				
			異常なし	経過観察	要注意	要受診	治療継続
平成28年度	1,051	83,218	19,612	6,995	32,197	17,529	6,885
平成29年度	967	80,014	18,137	6,618	30,867	17,698	6,694
平成30年度	922	74,778	15,300	6,362	30,926	16,406	5,784
令和元年度	895	74,736	14,875	6,328	30,663	17,052	5,818
令和2年度	891	75,564	13,595	6,528	31,429	17,850	6,162
対前年度	△ 4	828	△ 1,280	200	766	798	344
前年比率	99.55%	101.11%	-	-	-	-	-

②特殊健康診断

(単位:人)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
じん肺(肺機能含)	2,586	2,199	2,045	1,683	1,355	△ 328	80.51%
有機溶剤	3,534	3,279	3,341	3,086	2,875	△ 211	93.16%
鉛	78	88	87	82	76	△ 6	92.68%
特定化学物質	3,338	3,454	3,680	3,265	2,939	△ 326	90.02%
電離放射線	2,071	1,750	1,624	1,701	1,689	△ 12	99.29%
高気圧業務	131	121	110	108	114	6	105.56%
石綿	840	784	615	535	398	△ 137	74.39%
受診者数合計	12,578	11,675	11,502	10,460	9,446	△ 1,014	90.31%

③指導勧奨による健康診断等

(単位:人)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
運転業務	16	15	17	18	17	△ 1	94.44%
紫外線・赤外線	3,045	2,982	2,354	1,662	1,410	△ 252	84.84%
騒音作業	291	438	261	202	190	△ 12	94.06%
引金付工具	471	63	0	0	0	0	-
レーザー光線	26	2	13	7	8	1	114.29%
エポキシ樹脂	6	0	0	0	0	0	-
振動業務	0	0	849	779	750	△ 29	96.28%
受診者数合計	3,855	3,500	3,494	2,668	2,375	△ 293	76.36%

④情報機器作業健康診断(VDT)

(単位:人)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率	
検査	箇所数	44	48	43	40	32	△ 8	80.00%
	受診者数	3,212	2,822	2,622	2,652	1,682	△ 970	63.42%
問診のみ	箇所数	0	0	0	0	0	0	-
	受診者数	0	0	0	0	0	0	-
合計	箇所数	44	48	43	40	32	△ 8	80.00%
	受診者数	3,212	2,822	2,622	2,652	1,682	△ 970	63.42%

4 メンタルヘルスの実施状況

労働安全衛生法の改正により平成27年12月から毎年1回、事業者は全ての労働者に対して「ストレスチェック」を実施することが義務付けられたことで、当事業団も企業の事業所健診時に合わせてストレスチェックを 5,462人実施した。

①ストレスチェック

区分	箇所数	実施数	調査票				集団分析
			紙媒体		web		
			実施数	未回収	実施数	未回収	
平成28年度	37	7,847	6,872	683	258	34	37
平成29年度	40	7,132	6,192	655	276	9	40
平成30年度	37	6,777	5,807	693	241	36	37
令和元年度	36	5,542	4,749	519	243	31	36
令和2年度	34	5,462	4,835	358	220	49	34
対前年度	△ 2	△ 80	86	△ 161	△ 23	18	△ 2
前年比率	94.44%	98.56%	101.81%	68.98%	90.53%	158.06%	94.44%

5 結核健康診断の実施状況

結核検診は、一般住民、事業所、施設、学校(生徒)で合計 109,302人実施し、前年比 11,554人の減 9.56%の減少となった。

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
住民	箇所数	19	20	20	20	19	△ 1	95.00%
	受診者数	36,499	36,371	34,924	34,520	20,311	△ 14,209	58.84%
	病院紹介者数	1,183	1,314	1,087	1,026	709	-	-
	病院紹介者(率)	3.24%	3.61%	3.11%	2.97%	3.49%	-	-
事業所	箇所数	1,063	1,039	926	904	931	27	102.99%
	受診者数	74,681	71,442	67,689	66,906	68,910	2,004	103.00%
	病院紹介者数	413	436	446	448	745	-	-
	病院紹介者(率)	0.55%	0.61%	0.66%	0.67%	1.08%	-	-
施設	箇所数	43	45	47	46	45	△ 1	97.83%
	受診者数	3,746	3,660	3,490	3,521	3,227	△ 294	91.65%
	病院紹介者数	132	158	137	109	178	-	-
	病院紹介者(率)	3.52%	4.32%	3.93%	3.10%	5.52%	-	-
学校	箇所数	112	109	111	108	111	3	102.78%
	受診者数	17,162	16,797	16,655	15,909	16,854	945	105.94%
	病院紹介者数	56	28	49	41	64	-	-
	病院紹介者(率)	0.33%	0.17%	0.29%	0.26%	0.38%	-	-
合計	箇所数	1,237	1,213	1,104	1,078	1,106	28	102.60%
	受診者数	132,088	128,270	122,758	120,856	109,302	△ 11,554	90.44%
	病院紹介者数	1,784	1,936	1,719	1,624	1,696	-	-
	病院紹介者(率)	1.35%	1.51%	1.40%	1.34%	1.55%	-	-

6 原爆被爆者健康診断の実施状況

長崎県より委託された原爆被爆者健康診断の年2回の対象者は12市町で 16,687人だが、実施人員は 1,365人で、前年比 1,480人の減、52.02%の減少となった。

なお、肝機能検査 1,365人、多発性骨髄腫検査 413人を実施した。

(単位:人)

年度	箇所数	対象者	一般	肝機能	要精検者数	要精検率	多発性骨髄腫	要精検者数	要精検率
平成28年度	13	21,234	4,074	4,071	382	9.38%	2,074	67	3.23%
平成29年度	13	20,401	3,510	3,508	336	9.57%	1,892	59	3.12%
平成30年度	13	18,900	3,254	3,254	326	10.02%	1,756	22	1.25%
令和元年度	13	17,664	2,845	2,842	305	10.72%	1,491	24	1.61%
令和2年度	12	16,687	1,365	1,365	139	10.18%	413	2	0.48%
対前年度	△ 1	△ 977	△ 1,480	△ 1,477	-	-	△ 1,078	-	-
前年比率	92.3%	94.47%	47.98%	48.03%	-	-	27.70%	-	-

7 学校健診の実施状況

学校健診(児童・生徒)は、尿検査、寄生虫卵検査、心電図検査を、合計 40,656人実施し、前年比 1,645人の減、3.89%の減少となった。

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
尿検査	箇所数	224	213	204	203	200	△ 3	98.52%
	受診者数	30,145	29,446	28,816	29,000	28,491	△ 509	98.24%
	陽性者数	1,255	1,296	1,086	1,140	921	-	-
	陽性率	4.16%	4.40%	3.77%	3.93%	3.23%	-	-
寄生虫卵検査	箇所数	47	39	36	33	18	△ 15	54.55%
	受診者数	2,427	2,178	2,071	1,753	949	△ 804	54.14%
	保卵者数	5	3	0	0	0	-	-
	保卵率	0.21%	0.14%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-
心電図検査	箇所数	224	222	210	212	205	△ 7	96.70%
	受診者数	12,554	12,127	11,770	11,548	11,216	△ 332	97.13%
	有所見者数	993	1,195	874	661	798	-	-
	有所見率	7.91%	9.85%	7.43%	5.72%	7.11%	-	-
受診者数合計		45,126	43,751	42,657	42,301	40,656	△ 1,645	96.11%

8 胃がん検診の実施状況

胃がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所で、合計 18,327人実施した。

前年比 4,968人の減、21.33%の減少となった。

また、胃がん検診(撮影のみ)は、一般住民、事業所で、合計 1,566人を実施した。

前年比 539人の減、25.61%の減少となった。

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	18	19	19	19	18	△ 1	94.74%
	受診者数	12,977	12,663	11,742	10,872	6,000	△ 4,872	55.19%
	要精検者数	917	975	489	458	353	-	-
	要精検率	7.07%	7.70%	4.16%	4.21%	5.88%	-	-
原爆被爆者	箇所数	5	4	5	4	2	△ 2	50.00%
	受診者数	5	4	5	11	2	△ 9	18.18%
	要精検者数	0	0	0	0	1	-	-
	要精検率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	50.00%	-	-
事業所	箇所数	209	217	225	233	233	0	100.00%
	受診者数	12,712	12,507	12,454	12,412	12,325	△ 87	99.30%
	要精検者数	674	764	343	406	581	-	-
	要精検率	5.30%	6.11%	2.75%	3.27%	4.71%	-	-
合 計	箇所数	232	240	249	256	253	△ 3	98.83%
	受診者数	25,694	25,174	24,201	23,295	18,327	△ 4,968	78.67%
	要精検者数	1,591	1,739	832	864	935	-	-
	要精検率	6.19%	6.91%	3.44%	3.71%	5.10%	-	-

○撮影のみ(住民・事業所)

(単位:人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
受診者数	2,364	2,130	2,096	2,105	1,566	△ 539	74.39%

9 子宮頸がん検診の実施状況

子宮頸がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所で、合計 10,561人実施し、

前年比 5,614人の減、34.71%の減少となった。

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	19	19	19	19	17	△ 2	89.47%
	受診者数	14,480	14,225	13,873	13,547	7,632	△ 5,915	56.34%
	要精検者数	133	166	170	202	83	-	-
	要精検率	0.92%	1.17%	1.23%	1.49%	1.09%	-	-
原爆被爆者	箇所数	4	4	4	3	2	△ 1	66.67%
	受診者数	9	9	12	3	5	2	166.67%
	要精検者数	0	0	0	0	0	-	-
	要精検率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-
事業所	箇所数	38	41	42	51	57	6	111.76%
	受診者数	2,577	2,626	2,626	2,625	2,924	299	111.39%
	要精検者数	42	48	68	55	67	-	-
	要精検率	1.63%	1.83%	2.59%	2.10%	2.29%	-	-
合 計	箇所数	61	64	65	73	76	3	104.11%
	受診者数	17,066	16,860	16,511	16,175	10,561	△ 5,614	65.29%
	要精検者数	175	214	238	257	150	-	-
	要精検率	1.03%	1.27%	1.44%	1.59%	1.42%	-	-

10 乳がん検診の実施状況

乳がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所で、合計 11,459人実施し、前年比 7,383人の減、39.18%の減少となった。

検査別として、視触診 2,262 人、MMG検査 10,819人、乳腺超音波検査 3,062人を実施した。

(単位:人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率	
住 民	箇所数	19	19	19	19	17	△ 2	89.47%
	受診者数	16,035	16,015	15,693	16,017	8,551	△ 7,466	53.39%
	視触診	7,881	6,349	6,578	4,628	604	△ 4,024	13.05%
	MMG検査	14,513	14,517	14,320	14,688	8,244	△ 6,444	56.13%
	乳腺超音波検査	7,467	7,915	7,400	7,623	2,581	△ 5,042	33.86%
	要精検者数	942	920	737	720	395	-	-
	要精検率	5.87%	5.74%	4.70%	4.50%	4.62%	-	-
原 爆 被 爆 者	箇所数	4	4	6	3	2	△ 1	66.67%
	受診者数	10	8	13	4	5	1	125.00%
	視触診	10	3	9	3	0	△ 3	0.00%
	MMG検査	10	8	13	4	5	1	125.00%
	乳腺超音波検査	0	0	1	0	0	0	-
	要精検者数	0	0	1	0	0	-	-
	要精検率	0.00%	0.00%	7.69%	0.00%	0.00%	-	-
事 業 所	箇所数	36	46	42	60	59	△ 1	98.33%
	受診者数	2,389	2,507	2,680	2,821	2,903	82	102.91%
	視触診	2,063	1,640	1,688	1,704	1,658	△ 46	97.30%
	MMG検査	2,183	2,133	2,347	2,448	2,570	122	104.98%
	乳腺超音波検査	406	795	782	841	481	△ 360	57.19%
	要精検者数	183	162	132	140	158	-	-
	要精検率	7.66%	6.46%	4.93%	4.96%	5.44%	-	-
合 計	箇所数	59	69	67	82	78	△ 4	95.12%
	受診者数	18,434	18,530	18,386	18,842	11,459	△ 7,383	60.82%
	視触診	9,954	7,992	8,275	6,335	2,262	△ 4,073	35.71%
	MMG検査	16,706	16,658	16,680	17,140	10,819	△ 6,321	63.12%
	乳腺超音波検査	7,873	8,710	8,183	8,464	3,062	△ 5,402	36.18%
	要精検者数	1,125	1,082	870	860	553	-	-
	要精検率	6.10%	5.84%	4.73%	4.56%	4.83%	-	-

11 肺がん検診の実施状況

肺がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所で、合計 22,968 人実施し、前年比 14,429人の減、38.58%の減少となった。

喀痰細胞診は、一般住民 811人、原爆被爆者 14人、事業所 894人、合計 1,719人を実施した。

○X線検査

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	19	20	20	20	19	△ 1	95.00%
	受診者数	36,499	36,371	34,924	34,520	20,311	△ 14,209	58.84%
	要精検者数	809	973	705	684	414	-	-
	要精検率	2.22%	2.68%	2.02%	1.98%	2.04%	-	-
原爆被爆者	箇所数	12	12	12	12	12	0	100.00%
	受診者数	846	633	580	528	360	△ 168	68.18%
	要精検者数	37	35	34	22	9	-	-
	要精検率	4.37%	5.53%	5.86%	4.17%	2.50%	-	-
事業所	箇所数	30	29	28	28	25	△ 3	89.29%
	受診者数	2,081	2,057	2,068	2,349	2,297	△ 52	97.79%
	要精検者数	3	2	3	5	8	-	-
	要精検率	0.14%	0.10%	0.15%	0.21%	0.35%	-	-
合 計	箇所数	61	61	60	60	56	△ 4	93.33%
	受診者数	39,426	39,061	37,572	37,397	22,968	△ 14,429	61.42%
	要精検者数	849	1,010	742	711	431	-	-
	要精検率	2.15%	2.59%	1.97%	1.90%	1.88%	-	-

○喀痰細胞診

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	19	19	19	19	18	△ 1	94.74%
	受診者数	1,901	1,573	1,438	1,360	811	△ 549	59.63%
	要精検者数	8	4	4	3	1	-	-
	要精検率	0.42%	0.25%	0.28%	0.22%	0.12%	-	-
原爆被爆者	箇所数	7	6	7	5	4	△ 1	80.00%
	受診者数	71	23	27	15	14	△ 1	93.33%
	要精検者数	0	0	0	0	0	-	-
	要精検率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-
事業所	箇所数	19	18	19	17	16	△ 1	94.12%
	受診者数	836	846	834	809	894	85	110.51%
	要精検者数	0	0	0	0	0	-	-
	要精検率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-
合 計	箇所数	45	43	45	41	38	△ 3	92.68%
	受診者数	2,808	2,442	2,299	2,184	1,719	△ 465	78.71%
	要精検者数	8	4	4	3	1	-	-
	要精検率	0.28%	0.16%	0.17%	0.14%	0.06%	-	-

12 大腸がん検診の実施状況

大腸がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所で、合計 33,221人実施し、前年比 9,767人の減、22.72%の減少となった。

なお、大腸検診(一日法)は、事業所 175人を実施した。

○大腸がん検診

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	17	18	18	18	17	△ 1	94.44%
	受診者数	23,999	24,708	25,398	25,344	13,925	△ 11,419	54.94%
	要精検者数	1,868	1,824	1,808	1,755	992	-	-
	要精検率	7.78%	7.38%	7.12%	6.92%	7.12%	-	-
原爆被爆者	箇所数	12	12	12	13	11	△ 2	84.62%
	受診者数	524	405	384	324	216	△ 108	66.67%
	要精検者数	59	40	35	31	19	-	-
	要精検率	11.26%	9.88%	9.11%	9.57%	8.80%	-	-
事業所	箇所数	218	249	283	299	308	9	103.01%
	受診者数	14,571	14,934	16,550	17,320	19,080	1,760	110.16%
	要精検者数	730	716	822	922	1,037	-	-
	要精検率	5.01%	4.79%	4.97%	5.32%	5.44%	-	-
合 計	箇所数	247	279	313	330	336	6	101.82%
	受診者数	39,094	40,047	42,332	42,988	33,221	△ 9,767	77.28%
	要精検者数	2,657	2,580	2,665	2,708	2,048	-	-
	要精検率	6.80%	6.44%	6.30%	6.30%	6.16%	-	-

○大腸検診(一日法)

(単位:人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
受診者数	376	325	301	144	175	31	121.53%

13 骨粗鬆症予防検診の実施状況

骨粗鬆症予防検診は、一般住民、事業所で、合計 1,384人を実施した。

前年比 888人の減、39.08%の減少となった。

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	12	13	13	13	10	△ 3	76.92%
	受診者数	1,986	2,201	2,253	2,164	1,296	△ 868	59.89%
	骨粗鬆症の疑	543	677	716	694	405	-	-
	同率	27.34%	30.76%	31.78%	32.07%	31.25%	-	-
事 業 所	箇所数	2	2	2	2	2	0	100.00%
	受診者数	104	96	168	108	88	△ 20	81.48%
	骨粗鬆症の疑	17	19	25	24	20	-	-
	同率	16.35%	19.79%	14.88%	22.22%	22.73%	-	-
合 計	箇所数	14	15	15	15	12	△ 3	80.00%
	受診者数	2,090	2,297	2,421	2,272	1,384	△ 888	60.92%
	骨粗鬆症の疑	560	696	741	718	425	-	-
	同率	26.79%	30.30%	30.61%	31.60%	30.71%	-	-

14 腹部超音波検査の実施状況

腹部超音波検査(肝臓、膵臓、腎臓、脾臓、胆管、大動脈)は、一般住民、事業所で、

合計 2,289人実施した。前年比 3,846人の減、62.69%の減少となった。

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	6	7	7	7	2	△ 5	28.57%
	受診者数	4,101	4,669	4,447	4,435	556	△ 3,879	12.54%
	要精検者数	171	256	212	239	28	-	-
	要精検率	4.17%	5.48%	4.77%	5.39%	5.04%	-	-
事 業 所	箇所数	26	23	31	28	33	5	117.86%
	受診者数	1,802	1,131	1,106	1,700	1,733	33	101.94%
	要精検者数	46	43	23	58	49	-	-
	要精検率	2.55%	3.80%	2.08%	3.41%	2.83%	-	-
合 計	箇所数	32	30	38	35	35	0	100.00%
	受診者数	5,903	5,800	5,553	6,135	2,289	△ 3,846	37.31%
	要精検者数	217	299	235	297	77	-	-
	要精検率	3.68%	5.16%	4.23%	4.84%	3.36%	-	-

15 ヘリコバクター・ピロリ抗体検査の実施状況

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査は、一般住民、事業所で、合計 565人実施した。

前年比 390人の減、40.84%の減少となった。

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	2	5	6	6	6	0	100.00%
	受診者数	595	1,056	713	527	263	△ 264	49.91%
	陽性者数	246	517	308	203	113	-	-
	陽性率	41.34%	48.96%	43.20%	38.52%	42.97%	-	-
事 業 所	箇所数	1	2	4	5	4	△ 1	80.00%
	受診者数	30	4	763	428	302	△ 126	70.56%
	陽性者数	8	2	202	107	83	-	-
	陽性率	26.67%	50.00%	26.47%	25.00%	27.48%	-	-
合 計	箇所数	3	7	10	11	10	△ 1	90.91%
	受診者数	625	1,060	1,476	955	565	△ 390	59.16%
	陽性者数	254	519	510	310	196	-	-
	陽性率	40.64%	48.96%	34.55%	32.46%	34.69%	-	-

16 胃がんリスク検診(ABC検診)の実施状況

胃がんリスク検診(ABC検診)は、一般住民、事業所で、合計 850人実施した。

前年比 972人の減、53.35%の減少となった。

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率	
住 民	箇所数	7	7	8	7	6	△ 1	85.71%	
	受診者数	2,088	1,899	1,376	1,182	514	△ 668	43.49%	
	結 果	A群	1,163	901	757	681	291	-	-
		B群	284	465	363	263	112	-	-
		C群	564	503	240	225	103	-	-
D群		77	30	16	13	8	-	-	
事 業 所	箇所数	2	5	6	7	5	△ 2	71.43%	
	受診者数	572	692	618	640	336	△ 304	52.50%	
	結 果	A群	461	502	482	499	274	-	-
		B群	47	129	108	110	51	-	-
		C群	53	57	26	26	11	-	-
D群		11	4	2	5	0	-	-	
合 計	箇所数	9	12	14	14	11	△ 3	78.57%	
	受診者数	2,660	2,591	1,994	1,822	850	△ 972	46.65%	
	結 果	A群	1,624	1,403	1,239	1,180	565	-	-
		B群	331	594	471	373	163	-	-
		C群	617	560	266	251	114	-	-
D群		88	34	18	18	8	-	-	

17 風しん抗体検査の実施状況

風しん抗体検査は、特定健診や職場健診等で、合計 2,333人実施した。

(単位:人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
風しん抗体検査	-	-	-	1,788	2,333	545	130.48%

18 先天性代謝異常検査の実施状況

母子保健法による先天性代謝異常等検査は、平成25年4月よりタンデムマス法による検査を導入し、新生児 9,938人の検査した。前年比 610人の減、5.78%の減少となった。

(単位:人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率	
先天性代謝異常等検査	初回検査数	12,062	11,732	11,072	10,548	9,938	△ 610	94.22%	
	要 精 検 査 者 数	アミノ酸代謝異常症(※1)	1	3	2	0	4	-	-
		有機酸代謝異常症(※2)	5	2	0	4	3	-	-
		脂肪酸代謝異常症(※3)	1	2	1	2	8	-	-
		ガラクトース血症	2	1	2	2	0	-	-
		クレチン症	13	16	12	20	18	-	-
		先天性副腎過形成症	76	50	56	46	32	-	-
		低出生体重児(※4)	250	277	251	236	233	-	-

○上記検査項目の詳細

区 分	対象疾患数	対象疾患名
アミノ酸代謝異常症(※1)	5	①フェニルケトン尿症 ②ホモシスチン尿症 ③メープルシロップ尿症 ④シトルリン血症 I 型 ⑤アルギニノコハク酸尿症
有機酸代謝異常症(※2)	7	①プロピオン酸血症 ②メチルマロン酸尿症 ③イソ吉草酸血症 ④メチルクロトニルグリシン尿症 ⑤HMG血症 ⑥マルチプルカルボキシラーゼ欠損症 ⑦グルタル酸血症 I 型
脂肪酸代謝異常症(※3)	6	①CPT-1欠損症 ②MCAD欠損症 ③VLCAD欠損症 ④TFP/LCHAD欠損症 平成29年度より追加:⑤CPT-2欠損症 ⑥全身性カルニチン欠乏症

(※4)先天性代謝異常等検査の「低出生体重児」実施件数は、2次検査の実施件数を計上しました。

19 検体受託検査の実施状況

他医療機関より委託を受け、婦人科材料・呼吸器材料などの細胞診検査を 880人

実施した。前年比 161人の減、15.47%の減少となった。

(単位:人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	前年比率
婦人科	541	571	553	631	594	△ 37	94.14%
呼吸器	542	439	374	302	190	△ 112	62.91%
その他	128	126	145	108	96	△ 12	88.89%
合計	1,211	1,136	1,072	1,041	880	△ 161	84.53%

20 複十字シール運動

結核予防思想の普及のための複十字シール運動は、例年どおり組織募金と郵送募金の併用で実施し、組織募金は、県関係、市町、婦人会等を対象とし、郵送募金は医師会会員、民生委員をはじめ諸団体、事業所などの個人の方々より協力をいただいた。

また、前年度同様、全国一斉複十字シール運動キャンペーンを婦人会、保健所等と共催し、街頭募金を実施して結核の周知を図った。

区 分		令和元年度	令和2年度
郵送募金	件 数	97 件	87 件
	募金額	177,500 円	192,000 円
組織募金	件 数	194 件	162 件
	募金額	1,576,548 円	1,401,937 円
合計	件 数	291 件	249 件
	募金額	1,754,048 円	1,593,937 円

21 がん征圧推進運動

がん予防対策推進について理解と援助協力をいただく維持会員、特別会員を募集し、既会員を基盤として県関係、市町、医師会、事業所等へ呼びかけて協力をいただいた。

この募金は、がん征圧推進のため広報活動等に要する費用として活用している。

区 分		令和元年度	令和2年度
維持会員	件 数	103 件	107 件
	募金額	366,250 円	336,169 円
特別会員	件 数	12 件	15 件
	募金額	120,000 円	160,500 円
合計	件 数	115 件	122 件
	募金額	486,250 円	496,669 円

22 週間及び月間運動等の実施

- 結核予防週間 9月24日～9月30日(1週間)
県、保健所、市町、婦人会等と共催して県内各地で街頭キャンペーンを開催し、複十字シール・シールぼうやボールペン等を県民に手渡して結核予防思想の普及を図った。
- がん征圧月間 9月1日～9月30日(1ヵ月間)
県、医療機関、市町等へ征圧月間ポスター及びがん予防ポスターを配布した。

23 媒体による広報活動

がん予防対策推進に理解と援助協力をいただいた特別会員、維持会員等へ対がん協会報(毎月号、増刊号)を配布している。また、県、市町、事業所等が行う研修会及び検診実施時、キャンペーン等に、パンフレットやリーフレットを配布した。

配 布 資 料	配 付 先	配 付 数	
対がん協会報	特別会員・維持会員・県・市町等	年間	250 部
がん検診 がんに負けない社会をつくる	県・市町・事業所	年間	580 部
乳がんのセルフチェック	県・市町・事業所	年間	580 部
計		年間	1,410 部

24 教育資料の貸出

結核・乳がんに関する健康教育のため、啓発パネルの無料貸出を行い、結核・がん予防の普及に努めた。

25 図書の斡旋

結核予防会等発行の図書(結核?!でも心配しないで、保健師・看護師の結核展望他)を県、市町、医師会等へ紹介し、113部を斡旋した。

26 長崎県救急医療情報センター運営事業

(1)長崎県救急医療情報システム運営事業

長崎県より委託を受け、救急患者の医療の確保に不可欠な救急医療情報システムの管理運営を行った。

① 医療機関が情報の入力を行った回数

区 分	令和元年度	令和2年度
合計	9,340 回	9,245 回
月平均回数	778 回	770 回

② 消防機関及び医療機関等が情報の検索を行った回数

区 分	令和元年度	令和2年度
消防機関	8,467 回	9,447 回
医療機関	80,193 回	77,500 回
その他(保健所等)	10,468 回	7,081 回
合計	99,128 回	94,028 回

③ ホームページにより在宅当番医情報検索を行った件数

区 分	令和元年度	令和2年度
パソコンによる検索	141,410 回	81,312 回
携帯電話による検索	26 回	24 回
合計	141,436 回	81,336 回

(2)救急搬送事後検証票解析事業

救急搬送患者の状況を解析するため、救急搬送事後検証票のデータ入力・集計を行った。

区 分	令和元年度	令和2年度
データ入力件数	50,246 回	59,159 回

(3) その他の救急医療関係

① ACLSシステムの医師会への貸与

区 分	令和元年度	令和2年度
講習会	2 回	0 回
参加人数	13 名	0 名

② AED(自動体外式除細動器)の医師会への貸与

区 分	令和元年度	令和2年度
講習会	1 回	1 回
参加人数	310 名	300 名

③ 未熟児搬送用保育器の貸与

区 分	令和元年度	令和2年度
国立病院機構長崎医療センター	10 回	12 回
長崎みなとメディカルセンター	9 回	4 回

④ 救急医療機関案内電話(ハイキュウキュウ)

区 分	令和元年度	令和2年度
長崎市消防局	7,604 回	7,079 回
平戸市消防本部	60 回	58 回
県央消防本部	355 回	302 回
佐世保市消防局	8,287 回	7,442 回
島原消防本部	250 回	189 回
松浦市消防本部	91 回	55 回
合計	16,647 回	15,125 回

27 長崎県腎臓バンク運営事業

(1)一般への普及啓発(腎不全対策確立事業)

慢性腎不全対策に関する基礎資料の整備及び広報・キャンペーンを行った。

① 動態統計等、基礎資料の整備

長崎県腎不全対策協会に委託して、透析患者と透析施設の動態統計を整備した。

区 分	令和元年度	令和2年度
1.人工透析患者数 うち腹膜透析者数 ※長崎県内の人工透析施設毎の調査のため、 県外施設の長崎県在住者は含まない。	4,189 人 134 人	4,188 人 134 人
2.人工透析施設数 うち夜間透析可能施設	64 施設 22 施設	65 施設 25 施設
3.人工透析台数 うち多人数用 うち個人用	1,765 台 1,623 台 142 台	1,799 台 1,655 台 144 台
4.腎臓移植希望登録者数	170 人	168 人

② 広報活動の推進

1. 臓器移植推進月間(10月)の広報

- ・臓器移植推進月間(10月)において、長崎県庁にグリーンリボン懸垂幕を掲出し、夜間にはグリーン色にライトアップを実施した。また、長崎市風頭公園の龍馬像、長崎市稲佐山の電波塔、長崎みなとメディカルセンターの看板を同様にライトアップを実施した。
 - ・ポスター400枚を作成し、公共交通機関に掲示した。また、JR長崎駅かもめ広場に特大ポスターを掲示した。
 - ・長崎県内21市町が発行している広報誌10月号に臓器移植普及月間についての原稿提供と掲載依頼を行った。
 - ・長崎市消防局の電子掲示版に臓器提供に関する意思表示の推進の告知を行った。
2. 年間を通じ、県南地区を走行している長崎バスにおいて、ラッピングバス「グリーンリボン号」を運行した。
3. 市町や保健所、警察署、病院、各大学など従来からの設置箇所へ定期的配布した。
- ・臓器提供意思表示カード付リーフレット 30,790枚
4. 1月の成人式に臓器提供意思表示カード等を配布した。(県内21市町中20市町 7,530枚)
5. 長崎県内の一般住民・移植医療に携わる医師・長崎県臓器移植コーディネーターと意見交換会を開催した。

6. ながさきプレス12月号において、2面フルカラーで一般住民との意見交換会に関する内容が特集された。

・ながさきプレスWebサイト(12月～掲載中)において、一般住民との意見交換会に関する内容が掲載された。

・スマートフォン用Yahoo!Japanのトップページに広告を掲載し、ながさきプレスWebサイトへ誘引した。

7. 長崎県移植医療推進協議会の「facebook」(ソーシャルネットワークシステム)ページを作成し、長崎県内の移植医療に関する活動報告および意思表示事例の紹介について随時更新を行った。

③ 腎不全患者社会復帰事業

・長崎県腎臓病患者連絡協議会の活動への助成

腎臓移植普及推進キャンペーンに向けた取り組みに対して10万円を助成した。

(2) 病院への普及啓発(腎不全治療対策推進事業)

腎臓等移植のための組織的協力体制を整備する事業を行った。

①平成15年度より腎臓移植推進協力病院、県、腎臓移植病院、公益社団法人日本臓器移植ネットワークなどの関係機関と共に「長崎県移植情報担当者協議会」を組織し運営を行った。

1. 長崎県腎臓移植推進協力病院 移植情報担当者協議会を開催した。(2回)

2. 腎臓移植推進協力病院において、関係者(医師、看護師、臨床検査技師等)に対して院内説明会・症例報告会・法的脳死判定シミュレーション等を8病院33回行った。

・長崎大学病院(17回) ・長崎医療センター(1回) ・長崎労災病院(1回)

・長崎北徳洲会病院(1回) ・長崎県島原病院(4回) ・宮崎病院(1回)

・長崎みなとメディカルセンター(4回) ・佐世保市総合医療センター(4回)

②平成26年度より長崎県及び県内の臓器提供病院、移植病院、組織バンク、県医師会、マスメディア、弁護士会などの関係機関とともに、「長崎県移植医療推進協議会」を組織し運営を行った。

③ 臓器提供・移植

・臓器提供情報17件が寄せられ、うち5件で家族説明をし、そのうち脳死下臓器提供が3件実施された。

・他県より提供された肺、肝臓、膵臓、腎臓が県内の移植施設において5件移植(肝臓:1件、腎臓:3件、膵臓・腎同時:1件)が実施された。

④ その他の活動

1. 腎臓移植推進協力病院の指定と移植情報担当者の設置・委嘱状の交付

・18病院に協力依頼を行った。

・それぞれの病院に移植情報担当者(医師1名以上、看護師1名以上)総数50名を設置し、県知事より委嘱状を交付した。

2. 長崎県移植医療推進協議会の規程を制定し、移植医療推進協議会委員を設置し、県知事より委嘱状を交付した。

3. 急性期終末期患者(脳死とされうる状態の患者等)の家族を対象とした臓器提供意思確認リーフレットを新たに作成し、長崎県と共に腎臓移植推進協力病院18病院に対して、リーフレットの活用について協力依頼を行った。

4. 臓器提供が可能な病院の職員を対象とした臓器提供に関する県民の意思を尊重するための医療者向けのガイドブック「わたしたちはこう伝えています」を作成し、移植情報担当者協議会において使用方法を説明し、ガイドブックの活用について協力依頼を行った。
5. 腎臓移植実務者会議を開催し、腎臓移植希望登録のための更新手続き等について腎臓移植施設の移植医やレシピエント移植コーディネーター等と意見交換を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、更新手続きの一部を改訂し、県内全透析施設65施設および腎臓移植希望登録者に対してその手続き方法について周知した。
6. 厚生労働科学研究費補助金事業の協力研究者として研究に参画した。

⑤臓器移植コーディネーターの活動

1. 学会・会議・研修会・研究会等の出席(発表及び研修)
2. 病院訪問活動
 - ・腎臓移植推進協力病院(18病院)の訪問を定期的に行った。

(3)臓器移植登録助成事業

臓器移植登録助成の実績

- ・臓器移植希望者が公益社団法人日本臓器移植ネットワークに支払う新規登録料3万円のうち、当バンクへ申請した延19人に対して各2万円、合計38万円を助成した。

(腎臓:8人、肺:5人、肝臓:6人)

(4)受託事業

長崎県からの受託事業として以下を実施した

- ・臓器移植普及推進のための啓発物品の整備
 - ウェットティッシュ(800個)、個包マスク(2,000個)、封筒(3,700枚)、卓上カレンダー(150枚)、ドナー適応判断下敷き(1,000枚)を作成し配付した。

(5) 腎臓移植・人工透析関係資料

(令和3年3月31日現在)

区分	旧長崎県腎臓バンク登録数 (腎臓提供登録数)		人工透析患者数		腎臓移植希望者数		献腎提供 情報数※	県内で提供 された腎臓数 (提供人数)	県内での 献腎移植数
	[現在登録 終了]	増加数	全国 (年末)	長崎県 (年度末)	全国	長崎県			
平成元年度	(累計) 2,891	301	83,221	1,413	14,107	279		8(4)	8
平成2年度	3,814	923	103,296	1,556	16,925	239		11(6)	12
平成3年度	4,603	789	116,303	1,659	17,727	269		4(2)	6
平成4年度	5,530	927	123,926	1,776	19,143	284		0	5
平成5年度	6,226	696	134,298	1,871	20,562	274		4(2)	7
平成6年度	6,766	540	143,709	2,006	22,129	273		6(3)	14
平成7年度	7,216	450	154,413	2,081	15,057	263	1	0	1
平成8年度	7,703	487	167,192	2,132	14,987	182	6	2(1)	0
平成9年度	8,666	963	175,988	2,290	15,273	190	8	4(2)	0
平成10年度	8,915	249	185,322	2,451	13,291	193	3	2(1)	1
平成11年度	9,029	114	197,213	2,594	13,448	164	5	2(1)	4
平成12年度	9,068	39	206,134	2,833	13,206	170	0	0	0
平成13年度	9,106	38	219,183	3,003	13,013	165	5	0	0
平成14年度	9,106	新規登録 終了	229,538	3,114	12,974	163	4	2(1)	2
平成15年度			237,710	3,203	12,468	167	10	9(5)	6
平成16年度			248,166	3,352	12,328	163	10	2(1)	2
平成17年度			257,765	3,487	12,095	151	10	8(4)	4
平成18年度			264,473	3,517	11,941	141	10	8(4)	5
平成19年度			275,242	3,677	12,025	151	6	4(2)	4
平成20年度			283,421	3,841	11,940	145	4	4(2)	4
平成21年度			290,661	3,894	12,010	139	7	6(3)	3
平成22年度			298,252	※3,859	12,201	148	9	4(2)	2
平成23年度			304,856	3,900	12,542	144	11	2(1)	3
平成24年度			310,007	3,945	12,767	148	15	6(3)	2
平成25年度			314,180	4,052	12,875	144	21	6(3)	2
平成26年度			320,448	4,039	12,725	142	22	6(3)	2
平成27年度			324,986	4,102	12,725	142	33	6(3)	4
平成28年度			329,609	4,112	12,828	143	22	4(3)	4
平成29年度			334,505	4,114	12,449	146	15	2(4)	4
平成30年度			339,841	4,134	12,150	151	22	1(2)	1
令和元年度			344,640	4,189	12,505	170	20	0	3
令和2年度				4,188	13,163	168	17	6(3)	3

※献腎提供情報数: 県内の医療機関から腎臓提供の可能性があると連絡があった数

※平成22年度長崎県人工透析患者数は、過去の未報告者等(死亡等)の調整を行ったため減少